



2023年5月11日

各 位

会 社 名 株式会社 朝日ラバー
代表者の役職名 代表取締役社長 渡邊 陽一郎
(東証スタンダード市場 コード番号 5162)
問い合わせ先 執行役員管理本部長 堀 信幸
T E L 048-650-6051

第14次三ヵ年中期経営計画の策定について

当社は、2024年3月期を初年度とする三ヵ年の「第14次三ヵ年中期経営計画」(2023年4月～2026年3月)を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

I. 前中期経営計画(2020年4月～2023年3月)の振り返りと当社を取り巻く環境

2020年4月～2023年3月までの前中期経営計画では、経営方針として、「誠実で機敏な対応力で岩盤を築き質的に成長する」を掲げ、①事業が貢献する機会を増やして密着し、素早く課題を解決する技術で経験と実績を積み上げる、②CSR/ESG経営へ進化させる、を経営戦略として、光学事業、医療・ライフサイエンス事業、機能事業、通信事業の4つの事業分野で社会に貢献する企業を目指して取り組んでまいりました。定量目標のうち、連結売上高80～90億円、連結営業利益率8%以上は未達成となりました。

当社グループでは、2020年までに主要製品の量産体制を整えて、大きく事業を拡大させていくステージと考えていましたが、コロナ禍で需要環境や供給体制が変化する中で、まず従業員の健康を第一に働く環境を安定させ、事業の源泉となるコア技術を高める活動に注力しながら市場やお客様の要望に臨機応変に対応していくことを経営主題として、私たちに何ができるかを常に考えて判断と行動を続けてまいりました。当初の中期経営計画から変更あるいは延期となったものもありますが、事業の岩盤となる国際規格の取得や新製品の投入、新市場への参入を目論むイノベーションの社会実装活動など、長期ビジョンである「AR-2030VISION 弾性無限の創造で持続的な価値向上がつながる社会に貢献する」に向けて、市場における存在価値をお客様と一緒に開発を続けていく活動を続けてまいりました。

当社グループを取り巻く社会環境は、さらに変革が加速し、地球規模での環境問題への対応がさらに求められていきます。私たちの活動が、市場やお客様からの信頼や期待をさらに高めていくことが、事業活動を通じて社会に貢献することにつながると考えています。

II. 第14次三カ年中期経営計画

【1. 中期経営方針とテーマ・経営戦略】

中期経営方針	魅力を高めて新たな価値を提供しよう
テーマ	後継・Well-being
スローガン	「新しいカタチ」に向かって 挑戦

AR-2030VISION の実現に向け、未来につながる新しいカタチを求めて事業価値を創造し続けるために、技術、製品そして人材も次につなげていく「後継」という考え方を大事にしていきます。またその将来は、身体的、精神的、社会的に良好な状態である「Well-being」を高めながら岩盤となる ESG 経営に取り組んでまいります。

中期経営戦略	①事業活動の深化・進化・新化
	②スマートファクトリーの実践
	③Well-being を高める
	④地域社会貢献

【2. 連結経営目標】

2026年3月期目標	
連結売上高	85億円以上（2023年3月期実績72億円）
連結営業利益率	5%以上（2023年3月期実績2.6%）

当社グループは拠点の魅力が高まる価値やサービスに投資し、それぞれの特徴を生かしたつながりを強化することでグローバル社会に貢献する企業に発展してまいります。また研究開発製品の事業化を推進し、お客様や仕入先様と共創する活動を積極的に行うことで深化・進化・新化してまいります。未来につながる新しいテーマも多く取り組んでおり、「朝日ラバーだったら任せられる」「朝日ラバーだったら何とかしてくれる」というお客様の信頼と期待に着実に応えてまいります。

【3. 各事業分野の取り組み】

当社グループの独自のコア技術が事業分野ごとにどのような価値を提供できるか、その品質と機能の良さをお客様にすぐに認識していただき製品・サービスを提供できるように、OEM から ODM[※]の体制を構築して社会に貢献してまいります。

※OEM（Original Equipment Manufacturing）とは、受託者から委託を受けて製品の製造を行うこと

ODM（Original Design Manufacturing）とは、受託者から委託を受けて製品の設計開発から製造までを行うこと

（1）光学事業

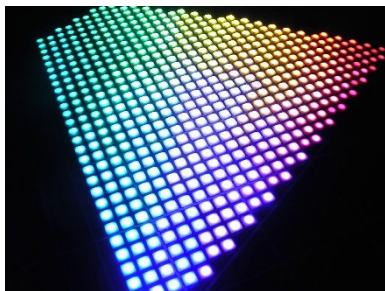
コア技術である色と光のコントロール技術に機能素材との組み合わせをプラスして、高付加価値な機能性光学部材を開発し、「光の価値」を生み出して具現化し、新たな光学製品・モジュール化へ発展させていきます。モビリティだけでなく新分野・新市場へグローバルに展開していきます。

テーマ **再構築と挑戦**

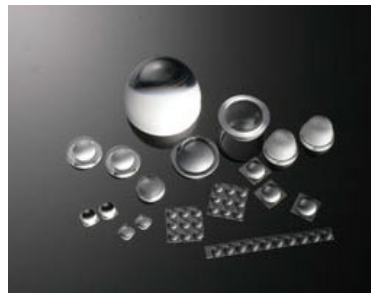
－ 光の可能性を追求した高付加価値製品で市場に貢献する －

売上計画 約30億円（2023年3月期実績 26億円）

主要製品 ASA COLOR LED（キャップ付LED）、ASA COLOR LENS、白色シリコンインキ



ASA COLOR LED



ASA COLOR LENS



白色シリコンインキ

(2) 医療・ライフサイエンス事業

診断・治療分野、理化学機器分野に向けて設計開発から携わり貢献度を高めていきます。産学連携によるデータ蓄積、企業連携による製品企画を進め、診断・治療機器を製造販売する企業を目指します。

テーマ **第二の柱へ成長させる**

－ ODM 設計・複合デバイスやシステム機器へ挑戦する －

－ 診断・治療機器を製造販売する企業を目指す －

売上計画 約20億円（2023年3月期実績 15億円）

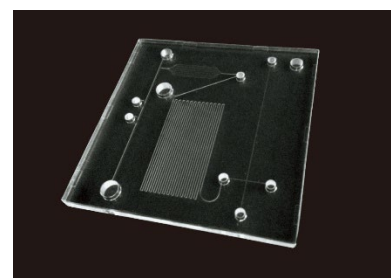
主要製品 薬液混注用ゴム栓、プレフィルドシリンジ用ガスケット、AR チェックバルブ、マイクロ流体デバイス



プレフィルドシリンジ用ガスケット



AR チェックバルブ



マイクロ流体デバイス

(3) 機能事業

サーモモジュールの応用製品の開発とものづくりの体制を確立します。またセンシングデバイスで生体情報を通して社会的課題を解決する製品・モジュール開発に取り組みます。前期まで子会社で研究開発と実証実験を行ってきた風力発電の O&M 事業化に向けて製品開発を進めます。

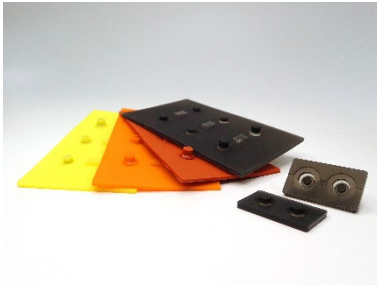
テーマ **新たな柱を創る**

－ 制御技術と触感・感性技術を磨き、未来のライフスタイルに貢献する －

売上計画 約29億円（2023年3月期実績 25億円）

主要製品 車載スイッチ用ラバー、F-TEM※、卓球ラケット用ラバー、風力発電関係

※F-TEM (Flexible Thermos Electric Module) とは、ゴムならではの柔軟性を持った当社独自のペルチェデバイス



車載スイッチ用ラバー



F-TEM



風力発電関係

(4) 通信事業

自動認識分野、通信機器分野、センシング分野において、伝える・伝わる価値でつながる社会に貢献します。

テーマ **基礎基盤を固める**

- モノ・センサ・通信規格・情報処理アプリケーションを駆使して、
新たな社会価値への取り組みに参画してスマート社会の発展に貢献する —

売上計画 約6億円 (2023年3月期実績 6億円)

主要製品 RFID タグ用ゴム製品、やわらか保護カバー、伸縮配線



やわらか保護カバー



伸縮配線

【4. 成長基盤の整備と Well-being への取り組み】

当社グループの活動の基盤となり、新しい価値を生み出していくのは従業員であり、従業員の成長が事業の成長につながり社会に貢献していく源泉です。従業員が心身ともに健康で安全に働く環境の整備と改善を目標と実行計画をもって取り組みます。

(1) 無形資産価値の向上

- ・人材育成方針と社内環境整備方針の制定と方針に沿った活動

《人材育成方針》

朝日ラバーは、経営基本方針の骨子として「広く社会に貢献すること」「人間として成長していくこと」を掲げ、一人ひとりの自主的な成長意欲や感謝の気持ちを重んじながら、常に社会や組織に最大限貢献できる人材育成を実施しています。

《社内環境整備方針》

①人格と個性の尊重

朝日ラバーは、社員一人ひとりが有している人格と個性を尊重し、ワクワクできる働きがいのある職場や自身が成長できる環境づくりを進めます。

②コンプライアンスの推進

朝日ラバーは、果たすべき社会的責任を自覚し、コンプライアンスを遵守するため継続的に推進活動を行い、風通しの良い企業風土づくりを進めます。

③環境への配慮

朝日ラバーは、地球環境にやさしいゆとりと豊かさを実現できる社会環境と、安全、安心でイキイキと働ける職場環境の整備を進めます。

- ・温室効果ガス削減活動
- ・コンプライアンス実行力を高める

(2) スマートファクトリーの実践

- ・ものづくりの自動化・合理化・省人化
- ・内外作政策の促進
- ・設計技術、生産技術の強化
- ・知的財産力を高める

(3) Well-being の向上

- ・従業員の声を聞き反映させていく環境と体制整備
- ・ワークライフバランスの向上
- ・健康、福利厚生活動の充実
- ・IT を利用した業務改善と働く環境整備

(4) 地域社会貢献

- ・地域の方々との交流

第14次三ヵ年中期経営計画は当社ホームページでも紹介しています。

<https://www.asahi-rubber.co.jp/ir/chukikeiei/>

以 上